

ハート・オブ・ゴールド

通信



vol.24

2011年1月20日発行

発行/編集 ハート・オブ・ゴールド事務局
本部 〒701-1213 岡山市北区西辛川872-2
TEL&FAX 086-284-9700
E-mail:hginfo@hofg.org

URL : <http://www.hofg.org/>



第15回アンコールワット国際ハーフマラソン 2010

第15回アンコールワット国際ハーフマラソン大会は、53の国と地域から、4,048名の参加者を迎えた。盛大に開催されました。プレイベントの参加者とともに、過去最多記録を塗り替えました。

大会の運営準備や会場設営では、前年度までとは大きく変更された点も多々あり、現地スタッフをはじめ、ボランティアの方々の奮闘で、無事完了致しました。お疲れさまでした。そしてありがとうございました。

日本からは、女子ハーフマラソンに、神戸学院大学女子駅伝競争部監督の上谷聰子さんが堂々1位でゴールされました。おめでとうございます。

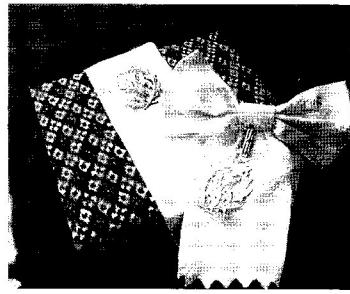
また、今回のスタディツアーに参加された方の名前が上位リストで見られるのは、とてもうれしいことです。

前夜祭は、アンコール遺跡内のバイヨン寺院をライトアップして "the Angkor Night" として開催致しました。恒例のアプサラダンスをはじめ、"鼓粹若衆板橋轟太鼓" の皆様が、日本より太鼓を持ち入って演奏され、幻想的な空間でのひとときに、ご出席の方々も大満足のご様子でした。

※ 急な会場変更でご参加の皆様には、ご迷惑をおかけしましたこと、お詫び申し上げます。

有森裕子代表、勲章親授

12月4日、AWHMの前夜祭にて、カンボジア王国 プレア・バット・ノロドム・シハモニ国王陛下より、ロイヤル・モニサラポン勲章 大十字(略称 サハメトリ章)を賜りました。



トン・コン観光大臣と有森代表 →



岡山理科大学WEBボランティア同好会の学生の方々に完全サポートしていただいて、AWHM WEBサイト(日本語、[http://www.angkormarathon.org/jp2/index\[2\].html](http://www.angkormarathon.org/jp2/index[2].html))をリニューアルしました。

AWHM2011は、12月4日(日)開催 / ツアーは7月より募集!

『カンボジア体育の実践』

プロジェクトマネージャー 山口 拓

体育科教育振興支援事業 [RECTI-PE]

JICA 草の根パートナー型支援事業 (JPP)



カンボジア王国 教育省の学校体育スポーツ局は国家を支える人材の「統率力・調和力」「思考・判断力」「体力・抵抗力・技能」「社会性」など4つの目標を学校教育で保障するために体育科の指導要領を新訂しました。(ここから当会の支援が開始されています。)その後、指導書を作成し、その指導書を使って、HG が育成した中央行政官等が、全国を5つにブロック分けしたその中心州にある小学校各2校を拠点に体育科教育の普及活動を行っています。現在は、その3つ目のブロック(リージョン5)の港町:シハヌークビル州に移動して振興活動を行っています。

1番目のブロック(リージョン1)は HG 主導で活動が実施され、最終的には 日本の熟練教師顔負けの素

晴らしい授業が公開授業で実践されるまでに至りました。2番目のブロック(リージョン2)では NT を中心に据えて、HG が後方支援しましたが、リージョン1と比較すると一定程度の効果に留まった印象を受けました。リージョン2の結果を受け、今回のリージョン5では開始前から「失敗は許されない」というプレッシャーがありました。各小学校では手作りの教具を使って研究授業が行われ、教師間の連携もよく満足のいくものでした。日本的小・中学校、マラソン実行委員会、企業、日本国内スポーツエイド協力マラソン、ロータリークラブ、岡山県など、多くの皆様のソフトとハードのご支援を受けながら進化し続けています。

研修員パル・サンポアス先生の研修、修了

岡山県ローカル・トゥ・ローカル技術移転事業の研修員として8月から11月末まで、岡山市の小学校などで研修を受けられました。現行のカンボジア王国小学校保健体育科振興事業の拠点校のうち、バッタンバンの小学校教諭であるサンポアス先生は、体育授業をはじめ、他の科目や学級運営、運動会、陸上競技会などの学校内外の行事も熱心に勉強され、また、初めてのスポーツ競技にも臆せず積極的に取り組まれていました。



ホームステイ時にホストファミリーの方に着物を着せていただき、後楽園でお茶を堪能

～3カ月半の岡山滞在によって大変多くのことを学び得ることができ、人生の宝物となる貴重な体験となりました。お世話になった方々に、心よりお礼を申し上げます。そして、これから的人生に活かすよう努力していくことを誓います。 Pal Samphas ~

研修受入機関:岡山県保健体育課、同スポーツ振興課、岡山市立御南小学校、同福島小学校、総社市立清音小学校、きよねスポーツクラブ、岡山学芸館高等学校、岡山県立倉敷中央高等学校

カンボジア王国小学校 保健科教育支援事業

プロジェクトオフィサー 土屋 智美

平成22年度も昨年度に引き続き、「国際ボランティア貯金に係る寄附金の配分による事業」としてスバイリエン州にて保健科教育支援事業を行っています。今年度は昨年よりも対象小学校を増やし、スバイリエン州の中心地であるスバイリエン郡の小学校6校を対象に、小学校教員の保健科教育に関する知識と指導技術の向上を目指して取り組んでいます。

8月には日本の現職小学校教員の4名の方々に専門家としてご協力頂き、4日間に渡って第1回教員育成講習会を開催しました。この講習会では、「計画」「教材」「指導方法」「評価」と4つのテーマを持って、それぞれ専門家の先生方に講義を行って頂きました。講義の後は低学年・高学年担当のグループに分かれグループワークを行い、講義で勉強した教材作成、指導方法や評価の仕方を実践してみる活動を行いました。ロールプレイや手に入る材料で作る教材、○×サインを使用して子ども達の理解度を計る評価の方法など、多くの新しい技術や手法を学び、カンボジアの先生達もとてもいい表情をしていました。

その後9月には、8月の講習会に参加した先生方が講習会で学んだことを自分の学校の先生達と共有する、伝達講



習会が各校で実施されました。他教員の前で発表する先生方は少々緊張している様子もありましたが、8月の講習会で学んだことをたくさん取り入れた発表が見られました。質疑応答タイムには、お互いにアドバイスをしたり、活発な意見交換が行われたりと先生方の意欲がとても感じられました。また、11月に行った第1回巡回モニタリング指導では実際の授業実施をモニタリングしましたが、ここでもこれまで学んだことや受けたアドバイスを活かして新しい教材や指導方法に挑戦する姿が見られ、少しづつではありますが保健科の授業内容に変化が起きてきています。

今後も、12月末に岡山県の小学校教員3名を専門家として迎えての第2回教員育成講習会、そして1月と2月に巡回モニタリング指導と活動が続きます。カンボジアの子ども達の健やかな生活の為に保健科教育の質が向上することを願って小学校の先生方を支援していきます。

カンボジア チエイ小学校 訪問

12月3日（金）午後、有森代表を含めツアー参加者80余名が校門で児童たちの歓迎の列に迎えられ、H G 瞳日本語教室や一般教室の算数授業の参観、ツアー参加者、子ども達のそれぞれがパフォーマンスを繰り広げ、2時間に亘り交流をしました。また、ツアー参加者や日本からお預りした支援の品々を贈呈、子ども達はとても喜んでいました。



現地の子どもたちによる民芸舞踊



ツアー参加者と子ども達



鼓枠若衆板橋轟太鼓による演奏



カモン美容師による美容実演

ギネスにチャレンジ！ 世代でつなぐ 422人マラソンリレー



1人100m×422人=42.195kmのバトンリレー！（主催：SPO x T）

10月10日（日）、岡山県総合グラウンド補助陸上競技場にて。HGブースにてパネル展を開催。リレーには、来日中の研修員サンポアス先生も参加され、「スポーツの秋」を楽しみました。



「外国人による日本語弁論大会」でのナムアオイ

HG日本語教室からの留学生

岡山学芸館高等学校に留学していた生徒のうち、1期生のスライミーと3期生のチョンパーは、8月無事高校を卒業し、2人とも日本語能力試験N1、N2に向け勉強中です。2期生のソッキイアは、看護大学1年生を首席で進級し2年生になりました。また現在留学中のナムアオイは、8月日本語能力試験N3に合格。部活や研修旅行から多くの日本を体験しています。

それぞれが、自分の夢に向かって、一步一歩進んでいます。

HG福島クラブ設立にあたって

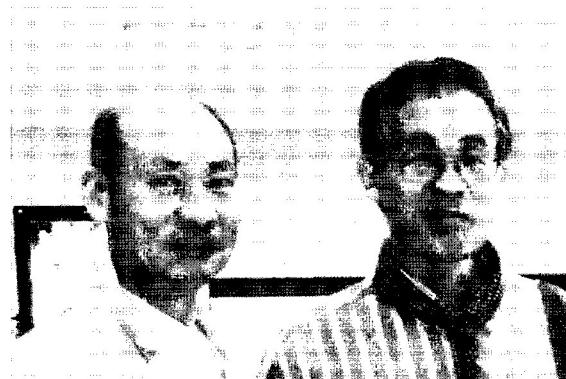
会長 本田 直

10月3日、福島市内のホテル辰巳屋において、有森裕子代表及び田代邦子事務局長のご臨席をいただき「福島クラブ」の発会式を行うことができました。

当日は、会則決定、役員選出などを行いましたが、計らずも私が会長に選出されましたので、よろしくお願ひいたします。

発会式においては、発起人代表のあいさつ、有森代表による来賓祝辞のあと、約60名の参加者に、HG設立10周年記念DVD「喜びを力に」を視聴していただきました。また、有森代表から「心の金メダル」と題する記念講演も行っていただき感謝しております。

その後は、場所を移して懇親会を行い、早速、会員同士の親睦を図ることができました。



本田氏（左）と
事務局長の今野金哉氏

当クラブの設立については、昨年の春から構想を練っていたわけですが、福島県内の陸上競技関係者や日本体育大学同窓生の皆さまのご理解により、ようやく発会式を行うことができたことをうれしく思っております。

現在の会員数は、30数名と少ないわけですが、今後、いろいろな機会をとらえてHG活動の広報に努める所存です。そして、会員を増強しながらHG活動への支援をしていきたいと考えておりますので、ご指導をよろしくお願いいたします。

スタッフ紹介



4月よりアジア事務所に赴任しています。現在は、体育教育支援事業の業務調整、保健教育支援事業のプロジェクト管理、そして事務所の

会計や庶務などを担当しています。一つのプロジェクトにも日本・カンボジア両方から本当にたくさん的人が協力してくださっているのを日にして、カンボジアでこうして活動ができるのも日本から支えてくださる会員の皆さん、ハート・オブ・ゴールド本部、専門家の先生や日本の小中学校の皆さんなどなど・・・多くの人の力がプロジェクトを支え、カンボジアの子ども達へ伝わっていくのだなと日々実感しています。会員の皆さん、これからも応援宜しくお願ひします！ブログも更新していますので見てくださいね。

土屋 智美



初めまして！アジア事務局のカンボジアオフィスにてマラソン担当を務めさせていただいております。国際マラソン大会という大きな規模とプレッシャーの中皆様のサポートと暖かい応援のお陰で最高の15周年を迎えることが出来ました。いくつもの国際スポーツイベントをやり続けていながらもマラソン運営は初めてでしたが、参加者や立ち障って下さった多くの方々にとても良い評価を頂いたので最高のクリスマスプレゼントだと思っております。これからもアンコールワット国際ハーフマラソンそしてハート・オブ・ゴールドのファン（会員）として色々な形で応援を続けたいと思っております。

西原 麻里緒

第4回吹田中の島チャリティ・ラン

9月19日(日)、快晴のもと開催いたしました。今大会の参加者は、3時間走が若干減少しましたが、その分ゲームリレーが倍増し、参加人数は500名弱となり、当初の心配をよそに、大変多くの方に参加いただきました。

また、今回はゲストとして、地元の吉田光代さん（元ダイハツ陸上部）にもご参加いただきました。

※多くのボランティアの方の力が集まつた、手作りのとても温かい大会です。まだ、ご参加いただいている方は、是非今年の大会でお目にかかりましょう。

活動報告（2010年後半）

- 6/23 IOC 女性スポーツ賞受賞、有森代表（スイス）
- 6/25-7/1 保健科教育指導ミッション（プロンペン）
- 7/18 天神祭奉納 2010 日本国際ドラゴンボート選手権（大阪）
- 8/7-14 保健科教育支援事業・教員育成講習会（スバイリエン）
- 8/12-11/30 岡山県ローカル・トゥ・ローカル技術移転事業 研修員受入
- 9/19 第4回吹田中の島チャリティ・ラン（大阪）
- 9/21 土浦ライオンズクラブ、有森代表
- 10/3 雄勝健康マラソン（秋田）有森代表
HG 福島クラブ設立、有森代表・田代
- 10/10 世代でつなぐ422人マラソンリレー（岡山）
- 11/28 第35回河口湖日刊スポーツマラソン（山梨）
有森代表
- 12/2-7 AWHM スタディツア（カンボジア）
- 12/4 アンコールウォーキング、AWHM 前夜祭
- 12/5 第15回アンコールワット国際ハーフマラソン（シェムリアップ）
- 12/27-30 保健科教育支援事業・教員育成講習会（スバイリエン）

活動予定（2011年前半）

- 2/10 HG バレンタイン・チャリティ・ディナー
- 2/13 HG 西日本チャリティ耐寒登山
- 3/6 第31回篠山ABCマラソン
- 3/20 第1回淀川国際ハーフマラソン
- 4/10 つくば市体育協会 20周年事業（有森代表講演）
- 4/17 第21回かすみがうらマラソン
会員交流会
- 5/22 HG 西日本チャリティ・ビアガーデン
- 6月 HG 理事会・総会・交流会